

領域	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	対象学年	3年	開講時期	前期
科目	関係法規	単位(時間)	1単位(30時間)		
講師名 所属	山本 真由美 嬉野医療センター附属看護学校 教育主事 実務経験：看護師11年 院内講師 嬉野医療センター 企画課長 院内講師 嬉野医療センター 専門職 院内講師 嬉野医療センター 経営企画室長 院内講師 嬉野医療センター 薬剤師 院内講師 嬉野医療センター 管理課長				
科目目標： 法の基本的知識ならびに保健医療関係の法規を学び、医療従事者としての業務と責任および看護の役割を理解できる					
授業概要： 1. 看護師が医療関係職種との協働チームとして看護実践を遂行するために必要な関係法規を網羅する。 2. 国家免許を有する医療職種の一員として、国民の健康とQOLに関するニーズに応じた質の高い看護を実践するために必要な関係法規を理解する。そのため、医療チームの管理者を中心にした講師陣による関係法規について実務レベルの具体的な事例や資料を提供する。					
授業計画					
回数	講義内容	講義形式	担当講師		
1～4	1. 法の概念 2. 看護法 1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義	山本 真由美		
5～6	3. 厚生行政のしくみ	講義	院内講師		
7～9	4. 医事法 1) 医師法 2) 歯科医師法 3) 医療法 4) 医療や社会福祉関連職に関する法律 5. 医療を支える法律	講義	院内講師		
10～11	6. 保健衛生法 7. 社会保険	講義	院内講師		
12～13	8. 薬事法	講義	院内講師		
14～15	9. 労働に関する法律 10. 環境法	講義	院内講師		
試験					
テキスト 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令 医学書院					
参考文献 1. 看護六法 2021年版, 看護行政研究会編集, 新日本法規 2. 国民衛生の動向 2020/2021, 厚生労働統計協会					
評価方法 筆記試験(別紙評価計画参照)					

領域	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	対象学年	2年	開講時期	前期
科目	社会福祉	単位(時間)	1単位(30時間)		
講師名 所属	坂本 雅俊 長崎国際大学人間社会学部 教授				
科目目標： 1. 社会福祉の発達、理論、社会福祉制度と社会保障制度について理解できる 2. 社会環境が変化する中で、国民のニーズを把握した法制度、サービスの活用について理解できる					
授業概要： 国民が健康で文化的な、幸福な生活送っていくためには社会福祉の仕組みが必要である。この点を踏まえて、社会福祉の歴史、理論、制度について講義する。さらに、社会環境が変化するなかで、国民の保健・医療・福祉のニーズがどうなっているのか考えさせて、理解できるように促し、関連する法制度やサービスの活用について講義する。					
授業計画					
回数	講義内容	講義形式			
1	日本における社会福祉の概要と社会保障、介護保険の概要	講義・演習 演習は筆談面接法やディベートなどのワークショップの形式で行う。			
2	高齢者の保健・医療・福祉に関する概説				
3	貧困の理解と生活保護法に関する概説				
4	公的扶助と所得保障				
5	児童と家庭生活に関する概説				
6	身体障害者の保健・医療・福祉に関する概説				
7	知的障害者の保健・医療・福祉に関する概説				
8	精神障害者の保健・医療・福祉に関する概説				
9	ひとり親家庭の保健・医療・福祉に関する概説				
10	地域福祉の基本的考え方と医療介護総合確保推進法				
11	ソーシャルワークの基礎 (ケアマネジメント、スーパービジョン、ネットワークングを含む)				
12	医療保険制度の概要と患者の医療福祉ニーズに関する概要				
13	母子及び父子並びに寡婦福祉法				
14	退院時社会復帰の看護についての概要 (成年後見制度 自立支援プログラム雇用制度と就労支援 病気による家庭生活の崩壊に対する修復等を含む)				
15	総括 看護における社会福祉の活用について				
テキスト 1. 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉 医学書院 2. 新・はじめて学ぶ社会福祉5 保健医療サービス、ミネルヴァ書房 3. 社会福祉用語辞典 ミネルヴァ書房					
評価方法 筆記試験(別紙評価計画参照)					

領域	専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	対象学年	2年	開講時期	前期
科目	リハビリテーション	単位(時間)	1単位(15時間)		
講師名所属	院内講師 嬉野医療センター 理学療法士 院内講師 嬉野医療センター 作業療法士 院内講師 嬉野医療センター 言語聴覚士 院内講師 嬉野医療センター 理学療法士 院内講師 嬉野医療センター 運動療法士 院内講師 嬉野医療センター 理学療法士 院内講師 嬉野医療センター 運動療法士				
科目目標： 1. リハビリテーションの意義と障害をもつ対象の特徴について理解できる 2. 各機能障害のリハビリテーションの方法と指導方法について理解できる					
授業概要： 主にテキストの以下の項目に沿って講義を行う。					
授業計画					
回数	講義内容	講義形式	担当講師		
1	1. リハビリテーション総論 1) リハビリテーションの定義と理念 2) リハビリテーションの対象の特徴 3) 障害者の分類と構造 (ICIDH-1～ICF) 4) リハビリテーションの領域とサービス提供の場 5) リハビリテーションにおけるチームアプローチの実際 6) リハビリテーションにおける看護師の役割 (理学療法士の視点から)	講義	院内講師		
2	2. リハビリテーションの実際 1) 脳血管障害のアセスメントの方法と実際	講義	院内講師		
3	2) 嚥下リハビリテーション	講義・演習	院内講師		
4	3) 運動器疾患のアセスメントの方法と実際 骨折、リウマチ	講義	院内講師		
5	4) 呼吸器の構造・機能 呼吸不全、慢性閉塞性肺疾患 5) 慢性閉塞性肺疾患のリハビリテーション看護	講義・演習	院内講師		
6	6) 心筋梗塞・心不全のアセスメントの方法と実際 心筋梗塞後プログラム、心臓リハビリテーション	講義	院内講師		
7	7) 起位・移乗動作の実技演習	講義・演習	院内講師		
8	試験				
テキスト 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 (第6版) 医学書院					
参考文献					
評価方法 筆記試験 (別紙評価計画参照)					